

添付資料

## 目 次

添付資料－1 美浜発電所 第3号機 第26保全サイクル 保全計画

添付資料－1 美浜発電所 第3号機 第26保全サイクル 保全計画

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等に関して、「美浜発電所 第3号機 第26保全サイクル 保全計画」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

美 浜 発 電 所  
第 3 号 機  
第 2 6 保 全 サ イ ク ル  
保 全 計 画

添付書類三 施設管理の実施に関する計画

## 目 次

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間・・・ 1
2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期・・・・・・・・ 3
4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置・・・ 3

別紙：点検計画（第26保全サイクル）

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

別表：長期施設管理方針実施状況総括表

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第26回定期事業者検査開始日から第27回定期事業者検査開始日の前日までの期間（第26回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間（※））とし、以降、この期間を第26保全サイクルという。

ただし、この期間内に第27回定期事業者検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

※：第26回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

(1) 工事の計画

a. 特定重大事故等対処施設設置工事：設計及び工事の計画認可

○工事概要

原子炉建屋への故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対してその重大事故等に対処するために必要な機能を有した特定重大事故等対処施設を設置する。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中（完了予定：2022年9月）

b. 所内常設直流電源設備（3系統目）設置工事

○工事概要

重大事故等の対応に必要な設備に電気の供給を行うことが可能であるもう1系統の特に高い信頼性を有する所内常用直流電源設備を設置する。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

c. 火災感知器追加設置工事

○工事概要

新火災防護基準バックフィット対応として、火災区域に対し、異なる種類の火災感知器を消防法に準じた箇所に設置する。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中（完了予定：第27回定期事業者検査期間中）



d. 非常用ディーゼル発電機受電遮断器高エネルギーアーク損傷対策工事

: 設計及び工事の計画認可

○工事概要

高エネルギーアーク損傷に係る実用発電用原子炉及びその附属設備の技術基準に関する規則等の一部改正に伴い、非常用ディーゼル発電機に保護リレーの追加等を行う。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

e. 電気ペネトレーション改良工事：設計及び工事の計画認可

○工事概要

原子炉格納容器電気配線貫通部のうち、キャニスタ型の三重同軸型電気ペネトレーションについて、モジュラー型電気ペネトレーションに取り替える。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

f. 廃液蒸発装置濃縮液配管他取替工事：設計及び工事の計画認可

○工事概要

塩化物イオンによる応力腐食割れ対策として、液体廃棄物処理系統配管を取り替える。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

g. A 所内変圧器取替工事

○工事概要

予防保全対策としてコイル絶縁性能が経年劣化傾向にある所内変圧器について、取り替えを行う。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

h. 格納容器サンプ水位伝送器取替工事

○工事概要

製造中止に伴い、格納容器サンプ水位伝送器を浮力式から差圧式に取り替える。

○予定時期

第26回定期事業者検査期間中

### 3. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期

#### (1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「美浜発電所 保守業務所則（平成15美原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「美浜発電所 土木建築業務所則（平成19美原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」等に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

### 4. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査に伴う停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

点 検 計 画  
(第 2 6 保 全 サ イ ク ル)

## 点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a. 定期事業者検査の対象となる設備

b. 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a) 防保護具、現地操作時に用いる工具類

(b) 一般消耗品（電池類他）

(c) 一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

② 保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a. 安全機能の重要度が高い設備

b. 供給信頼性重要度が高い設備

c. リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・ 定期事業者検査に係る点検
- ・ 定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備<sup>※1</sup>の点検等）については、「美浜発電所 保守業務所則（平成15美原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「美浜発電所 土木建築業務所則（平成19美原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

〔 潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、  
レデューサ、フローグラス 等 〕

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達（平成18原品証通達第2号）」等の考え方に従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全（時間基準保全、状態基準保全）を選定、事後保全是選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間（総合負荷性能検査～解列）に応じた値を示している。また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
- ・供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※2表記している。なお、回転機器（ポンプ、ファン等）等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
- ・これ以外で性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検がプラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
- ・このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
- ・機能・性能試験の結果等を踏まえて適宜実施する点検については、「X」により表記している。

※2：「B」、「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検や定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備は備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。
- ・状態監視技術のうち振動診断の頻度については、年度におけるデータ採取回数を「M」表示となるよう平均し記載している。

なお、第26保全サイクル中に点検を計画するものについては、「点検計画」に「○」※3を記載している。

また、「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）※4も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあつては、最新実績を記載している。

点検計画 目次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/41
【炉心】	
【原子炉容器】	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/41
【燃料取扱設備】	
【使用済燃料貯蔵設備】	
【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】	
【燃料取替用水設備】	
原子炉冷却系統施設	3/41
【一次冷却材の循環設備】	
【主蒸気・主給水設備】	
【余熱除去設備】	
【非常用炉心冷却設備】	
【化学体積制御設備】	
【蒸気タービンの附属設備】	
【原子炉補機冷却設備】	
【原子炉補機冷却海水設備】	
【原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置】	
計測制御系統施設	11/41
【制御材】	
【制御棒駆動装置】	
【ほう酸注入機能を有する設備】	
【工学的安全施設等の作動信号】	
【制御用空気設備】	
【その他設備】	
放射性廃棄物の廃棄施設	14/41
【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】	
【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	
【原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置】	
放射線管理施設	19/41
【放射線管理用計測装置】	
【換気設備】	
【生体遮蔽装置】	
【その他設備】	

機器又は系統名	ページ
原子炉格納施設	27/41
【原子炉格納容器】	
【圧力低減設備その他の安全設備】	
原子力設備	31/41
【その他設備】	
原子力設備・タービン設備	31/41
【その他設備】	
蒸気タービン	32/41
【車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸】	
【调速装置及び非常调速装置並びに调速装置で制御される主要弁】	
【復水器】	
【蒸気タービンに附属する熱交換器】	
【蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備】	
【蒸気タービンに附属する管等】	
【その他設備】	
その他発電用原子炉の附属施設	38/41
【補助ボイラー】	
【非常用電源設備】	
【常用電源設備】	
【火災防護設備】	
【浸水防護設備】	
【補機駆動用燃料設備】	
【非常用取水設備】	
土木建築設備	41/41
プラント総合	41/41
全般機器	41/41

- 別表-1：クラス1 機器供用期間中検査7年計画  
 別表-2：クラス2 機器供用期間中検査10年計画  
 別表-3：クラス3 機器供用期間中検査10年計画  
 別表-4：クラス1 機器Ni 基合金使用部位特別検査7年計画  
 別表-5：クラス2 管（原子炉格納容器内）特別検査7年計画  
 別表-6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画  
 別表-7：重大事故等クラス2 機器供用期間中検査10年計画  
 別表-8：重大事故等クラス3 機器供用期間中検査10年計画  
 別表-9：クラス1 配管特別検査計画

## 1. 点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術	
原子炉本体 【炉心】	照射燃料集合体	※1式	高	1F	○	25回	燃料集合体外観検査	※炉心設計による	
	照射燃料集合体 (取出燃料)	※1式	高	1F	○	25回		※炉心設計による	
	1. 燃料集合体	※1式	1. 外観点検 (炉内配置)	高	1F	○	25回	燃料集合体内配置検査	
			1. 外観点検 (炉内配置)	高	1F	○	25回	燃料集合体内配置検査	※炉心設計による
			1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	原子炉停止倉稼働検査 炉物理検査	定期事業者検査起動後
			1. 開放点検	高	13M	○	25回		
	原子炉容器	1台	1. 機能・性能試験 (リフティング・テスト)	高	1F	○	25回	燃料取扱装置機能検査	
			2. 機能・性能試験		1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施 (A/B側)
			3. 簡易点検 (点検手入)		13M	○	25回		
	燃料取扱クレーン	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	燃料取扱装置機能検査	
			2. 機能・性能試験		1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施
			3. 簡易点検 (点検手入)		13M	○	25回		先行実施
燃料ピットクレーン	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	燃料取扱装置機能検査		
		2. 機能・性能試験	高・低	1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)		
		3. 簡易点検 (点検手入)		13M	○	25回			
新燃料エレベータ	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	燃料取扱設備検査		
		2. 機能・性能試験		1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)		
		3. 簡易点検 (点検手入)		13M	○	25回			
補助建屋クレーン	1台	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	燃料取扱設備検査		
		2. 機能・性能試験		1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)		
		3. 簡易点検 (点検手入)		1Y	○	25回		年次点検	
燃料取扱工具	3台	1. 外観点検	低	1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)	先行実施	
		1. 外観点検	高	1F	○	25回	燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等)		
		1. 分解点検他	高	13M~169M	○	25回			
制御棒取換装置	1式	1. 分解点検他	高	65M~169M	○	25回			
		1. 分解点検他	低	B※	—	25回	燃料取扱設備検査 (使用済燃料取扱工具)	※：使用の都度 (前) 実施 先行実施	
		1. 外観点検	低						



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵設備】	使用済燃料ピット温度	1. 特性試験	高	13M	○	25回	計測制御系監視機能検査		
	使用済燃料ピット水位	1. 特性試験	高	13M	○	25回	計測制御系監視機能検査		
	可搬型使用済燃料ピット水位	1. 特性試験	高	13M	○	—	25回施設検査時に設置		
	使用済燃料ピット温度 (AM用)	1. 特性試験	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能検査		
	使用済燃料ピット温度 (広域)	1. 特性試験	高	13M	○	—	プラント状態監視設備機能検査		
	使用済燃料ピットエリア監視カメラ	1. 機能・性能試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査		
	使用済燃料ピットエリア監視カメラ 空冷装置	1. 機能・性能試験	高	13M	○	—	可搬型重大事故等対応設備機能検査		
	使用済燃料ピット浄化冷却設備	1. 式	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機)	低	1F	○	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査		
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】	A 燃料ピットポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回		先行実施 (振動診断: 6M) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 1の反映 (電動機)
			2. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回		
B 燃料ピットポンプ・電動機		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	130M	—	25回		先行実施 (振動診断: 6M) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 1の反映 (電動機)	
		2. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
送水車		3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	可搬型重大事故等対応設備機能検査		
大容量ポンプ (放水用)		1台	2. 外観点検	高	1Y	○	可搬型重大事故等対応設備機能検査		
燃料ピットフイタ			2. 分解点検	高	10Y	—			
A 燃料ピットクレー			1. 開放点検	高	130M	—		先行実施	
B 燃料ピットクレー			1. 開放点検	低	195M	—		先行実施	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】 その他弁		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】 その他弁	1. 分解点検	高・低	104M~260M	○	25回	1 次系逆止弁検査 1 次系弁検査	先行実施
	2. 簡易点検 (グラウンドバックスキン取替)			130M~195M	○	25回			
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備】 その他機器	1. 分解点検他	高	130M	○	21回			
		1. 分解点検他	低	13M~169M	○	25回		一部BMあり 一部先行実施 (振動診断[燃料ピットスキマポンプ、燃料ピットスキマポンプ用電動機]; 3M)	
	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】	A 燃料取替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	24回	1 次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 6M)
			2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	24回		B※: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
		B 燃料取替用水ポンプ・電動機	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
		核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他弁	1. 機能・性能試験	高	B※	○	25回	1 次系ポンプ機能検査	先行実施 (振動診断: 6M)
			2. 分解点検 (ポンプ)		130M	○	21回		B※: ポンプまたは電動機の分解点検にあわせて実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他弁		3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他機器		1. 式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	23回	1 次系安全弁検査	
			2. 分解点検	高・低	39M~195M	○	25回	1 次系安全弁検査 1 次系逆止弁検査 1 次系弁検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他機器	1. 式	3. 簡易点検 (グラウンドバックスキン取替)	高	130M~195M	—	22回			
		1. 分解点検他	高	13M~195M	○	25回			
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【燃料取替用水設備】 その他機器	1. 式	1. 分解点検他	低	52M~169M	○	24回		一部BMあり	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A.蒸気発生器	伝熱管 3379本	高	26M	○	24回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		1.開放点検	高	13M	○	25回		
		2.簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	25回		
		マンホール	高	13M	○	25回		
		1.簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	○	24回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		3382本	高	13M	○	25回		
	B.蒸気発生器	1.開放点検	高	13M	○	25回		
		2.簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	25回		
		マンホール	高	13M	○	25回		
		1.簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	—	25回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		3382本	高	13M	○	25回		
		2.簡易点検 (スラッジランシング)	高	13M	○	25回		
	C.蒸気発生器	マンホール	高	13M	○	25回		
		1.簡易点検 (ガスケット取替他)	高	26M	—	25回	蒸気発生器伝熱管体積検査	
		3個	高	1F	○	25回		
		2.漏えい試験	高	B	○	25回	加圧器安全弁機能検査	
		3.分解点検	高	13M	○	25回	加圧器安全弁分解検査	
		2個	高	1F	○	25回	加圧器逃がし弁機能検査	
	加圧器逃がし弁	3PCV-445	高	1F	○	25回		
		1.機能・性能試験 (稼働部含む)	高	26M	○	25回	加圧器逃がし弁漏えい検査	
		2.分解点検	高	26M	○	25回	加圧器逃がし弁分解検査	
3PCV-444A		高	1F	○	25回	加圧器逃がし弁漏えい検査		
1.漏えい試験		高	26M	○	25回	加圧器逃がし弁分解検査		
2.分解点検		高	13M	○	25回	加圧器逃がし弁分解検査		
加圧器逃がし弁駆動部	2個	高	1F	○	25回			
	1.機能・性能試験	高	130M	—	25回			
	2個	高	65M	—	25回			
	3MOV-8000A	高	130M	—	25回			
	1.分解点検 (駆動部含む)	高	65M	—	25回			
	2.簡易点検 (グラントドパッキン取替)	高	65M	—	25回			
加圧器逃がし弁入口止弁	2個	高	156M	—	25回			
	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	2個	高	130M	—	23回			
	3MOV-8000B	高	13M	○	25回			
	1.分解点検 (メカニカルシール ポンプ)	高	104M	○	23回	1次冷却材ポンプメカニカルシール 分解検査		
	4.分解点検 (フライホイール 電動機)	高	52M	○	23回			
加圧器逃がし弁入口止弁駆動部	5.分解点検 (軸受点検) (電動機)	高	104M	○	23回			
	6.分解点検 (全分解) (電動機)	高	13M	○	25回			
	7.簡易点検 (潤滑油入替他) (電動機)	高	13M	○	25回			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	B.冷却材ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次冷却材ポンプ機能検査	一部定期事業者検査起動後	
		2.分解点検(ポンプ)		130M	—	24回			
		3.分解点検(メカニカルシールポンプ)		13M	○	25回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査		
		4.分解点検(フライホイール電動機)		104M	○	18回			
		5.分解点検(電動機)		52M	○	22回			
		6.分解点検(軸受点検)		104M	○	18回			
		7.簡易点検(電動機)		13M	○	25回			
		1.機能・性能試験(潤滑油入替他)(電動機)		1F	○	25回	1次冷却材ポンプ機能検査		
		2.分解点検(ポンプ)		7Y	—	25回			
		3.分解点検(メカニカルシールポンプ)		13M	○	25回	1次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査		
		4.分解点検(フライホイール電動機)		104M	○	21回			
		5.分解点検(軸受点検)		52M	○	25回			
		6.分解点検(電動機)		104M	○	21回			
		7.簡易点検(潤滑油入替他)(電動機)		13M	○	25回			
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁	加圧器	1.開放点検	高	13M	○	25回			
		2.簡易点検(マンホールガスケット取替)		13M	○	25回			
		1.機能・性能試験		高・低	B	—	25回		1次系弁検査
		2.分解点検		26M~260M	○	25回	1次系逆止弁検査		
		3.簡易点検(グラウンドパッキン取替)		26M~195M	—	25回	1次系弁検査		
		1.機能・性能試験		高・低	B	○	25回		1次系弁検査
		2.分解点検		13M~65M	○	25回			
		3.簡易点検(特性点検)		13M~65M	○	25回			
		1.分解点検他		13M~195M	○	25回			
		1.分解点検他		39M~195M	○	25回			
		1.機能・性能試験		高	1F	○	25回		主蒸気安全弁機能検査
		2.漏えい試験		低	B	○	25回		主蒸気安全弁漏えい検査
		3.分解点検		26M	○	25回			
		原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]		主蒸気安全弁	1.機能・性能試験	高	1F		○
2.漏えい試験	B		○		25回		主蒸気安全弁漏えい検査		
3.分解点検	26M		○		25回				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)						
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	主蒸気安全弁	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	主蒸気安全弁機能検査							
		2.漏えい試験		B	—	25回	主蒸気安全弁漏えい検査							
		3.分解点検		26M	—	25回								
	主蒸気速がし弁	3個	1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	25回	主蒸気速がし弁機能検査 最終ヒートシントリング熱輸送設備動作検査は25回施設定期検査より追加						
			2.漏えい試験		B	○	25回	主蒸気速がし弁漏えい検査						
			3.分解点検		13M	○	25回							
	主蒸気隔離弁	3個	1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	25回	主蒸気隔離弁機能検査						
			2.分解点検		26M	○	25回	2次系弁検査						
			1.分解点検		13M	○	25回							
	主蒸気隔離弁駆動部	3個	1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	25回	タービンバイパス弁機能検査						
			2.分解点検		52M	○	25回							
			1.分解点検		52M	○	25回							
	タービンバイパス弁	8個	1.機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	25回							
			2.分解点検		52M	○	25回							
			1.分解点検		13M	○	25回							
タービンバイパス弁駆動部	8個	1.機能・性能試験	高	B	○	25回	2次系弁検査 2次系安全弁検査 2次系弁検査							
		2.分解点検		39M~195M	○	25回								
		3.簡易点検 (グラウンドバスキング取替)		65M~195M	○	25回								
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高	B	—	25回	2次系弁検査							
		2.分解点検		52M~156M	—	25回								
		3.簡易点検 (特性点検)		13M	○	25回								
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の機器	1式	1.機能・性能試験	高	13M~260M	○	25回								
		2.分解点検		39M~260M	○	25回								
		3.簡易点検		一部BMあり	—	25回								
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	A余熱除去ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系ポンプ機能検査 (振動診断「電動機」：IM) その他原子炉注入系ポンプ分解検査は25回施設定期検査より追加							
		2.分解点検(ポンプ)		78M	—	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水ポンプ分解検査							
		3.分解点検(電動機)		78M	—	23回								
	B余熱除去ポンプ・電動機	1式	1.簡易点検 (潤滑油入替)(電動機)	高	26M	—	25回							
			2.分解点検(ポンプ)		B	—	25回	1次系ポンプ機能検査 (振動診断「電動機」：IM) その他原子炉注水ポンプ分解検査は25回施設定期検査より追加						
			3.分解点検(電動機)		78M	—	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水ポンプ分解検査						
			1.簡易点検 (潤滑油入替)(電動機)	高	26M	—	25回							
										2.分解点検(ポンプ)	78M	—	25回	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	A 余熱除去クローラ	1. 開放点検	高	130M	—	25回	1次系熱交換器検査		
		2. 非破壊試験	高	130M	—	25回			
		B 余熱除去クローラ	1. 開放点検	高	130M	—	25回	1次系熱交換器検査	
			2. 非破壊試験	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		低圧注入系主要弁	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 查は25回実施定期検査より追加
			1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 查は25回実施定期検査より追加
	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の弁	3V-8973A	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 查は25回実施定期検査より追加
		3V-8973B	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 查は25回実施定期検査より追加
		3V-8973C	1. 分解点検	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 查は25回実施定期検査より追加
		1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系安全弁検査	
			2. 分解点検		39M~195M	○	25回	1次系弁検査	
			3. 簡易点検 (グラウンドバックスキップ取替)		52M~195M	○	25回	1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の機器	原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] その他の機器	1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		52M~156M	—	25回			
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M	○	25回			
		1. 分解点検他	高	78M~195M	○	25回			
		1. 分解点検他	低	26M~52M	—	24回		一部BMあり	
			1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	25回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注入系機能検査	その他原子炉注入系機能検査は25回実施定期検査より追加
	高圧及び低圧注入系 (余熱除去設備 (低圧注入機能) を含む)	A 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注入系ポンプ分解検査 查は25回実施定期検査より追加
			2. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回		
			3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	25回		
			4. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M	—	25回		
			1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注入系ポンプ分解検査 查は25回実施定期検査より追加
			2. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回		
B 充てん/高圧注入ポンプ・電動機		3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	25回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M	○	25回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注入系ポンプ分解検査 查は25回実施定期検査より追加	
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	25回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M	○	25回			
C 充てん/高圧注入ポンプ・電動機		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注入系ポンプ分解検査 查は25回実施定期検査より追加	
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替 (ポンプ))		13M	○	25回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替 (電動機))		26M	—	25回			
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	25回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注入系ポンプ分解検査	(振動診断: 3M) その他原子炉注入系ポンプ分解検査 查は25回実施定期検査より追加	
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧注入系主要弁	3MOV-8803A	高	65M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3MOV-8803B	高	65M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3MOV-8801A	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3MOV-8801B	高	130M	—	19回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3LCV-115D	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3LCV-115E	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3V-8937A	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8937B	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8937C	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8939A	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8939C	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8940A	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8940B	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8940C	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8942A	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8942C	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8944A	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査	
		3V-8944B	高	260M	—	21回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3V-8944C	高	260M	—	24回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3V-8945A	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
3V-8945B	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
3V-8945C	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加		
1式		2. 簡易点検 (グラント/バッキン取替)	高	65M~130M	—	25回	その他原子炉注入系主要弁分解検査	
高圧注入系主要弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	156M	—	22回		
蓄圧注入系	蓄圧注入系	1. 機能・性能試験 (弁駆動部含む)	高	1F	○	25回	非常用炉心冷却系機能検査 その他原子炉注入系機能検査	その他原子炉注入系機能検査は25回施設定期検査より追加
		3MOV-8808A	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3MOV-8808B	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3MOV-8808C	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3V-8948A	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3V-8948B	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3V-8948C	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3V-8948D	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3V-8948E	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加
		3V-8948F	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加	その他原子炉注入系主要弁分解検査 査は25回施設定期検査より追加

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧注入系主要弁	3V-8956A	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査	
		3V-8956B	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査	
		3V-8956C	高	130M	—	25回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査	その他原子炉注入系主要弁分解検査 その他原子炉注入系主要弁分解検査	
		1式	高	65M	—	25回	3.簡易点検 (グラウンドバッキング取替)		
	蓄圧注入系主要弁駆動部	1式	高	156M	—	25回	1.分解点検		
		Aアキユムレータ	高	130M	—	24回	1.開放点検		
		Bアキユムレータ	高	130M	—	24回	1.開放点検		
		Cアキユムレータ	高	130M	—	24回	1.開放点検		
	燃料取扱用水タンク	1.開放点検	高	130M	—	22回	1.開放点検		
		1.開放点検	高	130M	—	25回	1.開放点検		
	格納容器再循環サンプ	1.外観点検	高	1F	○	25回	1.外観点検		
		1.外観点検	高	10Y	—	25回	1.外観点検	原子炉格納容器再循環サンプスケ リーンの検査は25回実施定期検査よ り追加	
	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	○	25回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
			2.分解点検		39M~260M	○	25回	1次系安全弁検査 1次系弁検査	
3.簡易点検 (グラウンドバッキング取替)				52M~195M	○	25回			
1式		1.機能・性能試験	高・低	B	○	25回	1次系弁検査		
		2.分解点検		52M~156M	○	25回			
		3.簡易点検 (特性点検)		52M	○	25回			
1式		1.分解点検他	高	78M~195M	○	25回		(振動診断「赤でん」/高圧注入ボ ンプ補助ポンプ用電動機、充てん/ 高圧注入ボンプ増速機)：30)	
		1.分解点検他	低	13M~195M	○	25回		一部BMあり 一部先行実施	
その他原子炉注水系		1.機能・性能試験	高	1F	○	25回		その他原子炉注水系機能検査 [対象設備] A,B低圧注入系 A,B高圧注入系 B高圧注入系 (海水冷却) A,B,C充てん系 (自己冷却) C充てん系 (自己冷却) 25回実施定期検査より追加	
		1.機能・性能試験 (ポンプ・電動機含む)	高	1F	○	—	—	25回実施検査時に設置	
恒設代替低圧注水系		1台	1.試運転	高	26M	○	—	25回実施検査時に設置 (振動診断：10)	
			2.分解点検 (ポンプ)		130M	—	—	原子炉格納容器安全系ボンプ分解 検査	
			3.分解点検 (電動機)		130M	—	—		
			4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	—	—	
原子炉下部キャビタイ注水系・電動機	1台	1.試運転	高	26M	—	—	25回実施検査時に設置 (振動診断：10)		
		2.分解点検 (ポンプ)		130M	—	—	原子炉格納容器安全系ボンプ分解 検査		
		3.分解点検 (電動機)		130M	—	—			
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	—			

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機 3台	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型重大事故等対応設備機能検査	25日施設検査時に設置
		2. 作動確認		3M	○	—		
		3. 分解点検 (ポンプ)		10Y	—	—		
		4. 潤滑油補給 (電動機)		1Y	○	—		
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備]	化学体積制御系 体積制御タンク 冷却材フィルタ 非再生クレーラ	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	化学体積制御系機能検査	定期事業者検査起動後
		1. 開放点検	高	130M	—	25回		
		1. 開放点検 (ガスケット取替含む)	高	130M	—	23回		
		2. 非破壊試験		130M	—	23回	1次系熱交換器検査	
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	25回	1次系弁検査	保全の有効性評価結果No. 2の反映
		2. 分解点検	高・低	13M~260M	○	25回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査	
		3. 簡易点検 (フランドパッキン取替)		13M~195M	○	25回	1次系弁検査	
		1. 機能・性能試験	高	52M~156M	○	25回	1次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 [化学体積制御設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	52M~78M	○	25回	1次系弁検査	一部先行実施
		3. 簡易点検 (特性点検)		13M~78M	○	25回		
		1. 分解点検他	高	26M~195M	○	25回		
		1. 分解点検他	低	26M~195M	○	25回		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備]	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁駆動部等含む)	高	1F	○	25回	補助給水系機能検査	(振動診断：10)
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回		
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		13M	○	25回		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	B 電動補助給水ポンプ・電動機	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	25回		(振動診断：10)
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	
		3. 簡易点検 (潤滑油入替他) (ポンプ)		78M	—	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
タービン動補助給水ポンプ	1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断：10)
		2. 分解点検		52M	—	25回	補助給水系ポンプ分解検査	
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	25回		
		1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	2次系弁検査 2次系安全弁検査 2次系弁検査	
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁	1式	2. 分解点検		195M	○	25回		
		3. 簡易点検 (フランドパッキン取替)		B	—	25回		
		1. 機能・性能試験	高	B	—	25回		
		2. 分解点検		52M	—	25回		
原子炉冷却系統施設 [蒸気タービンの附属設備] その他の弁駆動部	1式	3. 簡易点検 (特性点検)	高	52M	—	25回		
		1. 分解点検他	高	91M~260M	○	25回		
		1. 分解点検他	低	65M~195M	○	25回		
		1. 分解点検他						



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却設備]	原子炉補機冷却系	1. 機能・性能試験 (弁駆動部等含む) 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	1F	○	25回	原子炉補機冷却系機能検査	
	A-1 次系冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ)	高	B 78M 130M 13M	— — — ○	25回 25回 25回 25回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断: 4H) 保全の有効性評価結果No. 4の反映 (ポンプ・電動機)
	B-1 次系冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B 78M 130M 13M	— — — ○	25回 25回 25回 25回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断: 4H) 保全の有効性評価結果No. 4の反映 (ポンプ・電動機)
	C-1 次系冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B 78M 130M 13M	— — — ○	25回 25回 25回 25回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断: 4H) 保全の有効性評価結果No. 4の反映 (ポンプ・電動機)
	D-1 次系冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) 3. 分解点検 (電動機) 4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)	高	B 78M 130M 13M	○ ○ — ○	25回 25回 25回 25回	1 次系ポンプ機能検査	(振動診断: 4H) 保全の有効性評価結果No. 4の反映 (ポンプ・電動機)
	1 次系冷却水タンク	1. 開放点検	高	195M	—	25回		
	A-1 次系冷却水クレーラ	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	13M 1F 39M	○ ○ ○	25回 25回 25回	1 次系冷却水クレーラ機能検査	
	B-1 次系冷却水クレーラ	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	13M 1F 39M	○ ○ ○	25回 25回 25回	1 次系冷却水クレーラ機能検査	
	C-1 次系冷却水クレーラ	1. 開放点検 2. 漏えい試験 3. 非破壊試験	高	13M 1F 39M	○ ○ ○	25回 25回 25回	1 次系冷却水クレーラ機能検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高・低	B 104M~260M 104M~195M	○ ○ ○	25回 25回 25回	1 次系弁検査 1 次系弁検査 1 次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他の弁駆動部	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (特許点検)	高・低	B 52M~156M 13M	— — ○	25回 25回 25回	1 次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他機器	1. 分解点検他	高	13M~234M	○	25回		
	その他AM (代替補機冷却、格納容器自然対流冷却) 機器	1. 分解点検他	低	13M~195M	○	25回		
	大容量ポンプ	1. 分解点検他	高	26M~195M	—	25回		
	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	1. 機能・性能試験	高	1Y 10Y	○ ○	— —		可搬型重大事故等対応設備機能検査 25回施設検査時に設置 25回施設検査時に設置

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備]	原子炉補機冷却海水系	1.機能・性能試験(弁駆動部含む)	高	1F	○	25回	原子炉補機冷却系機能検査		
		A.海水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	○	25回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断「電動機」:2M) 保全の有効性評価結果No.5の反映(ポンプ)
			2.分解点検(ポンプ)		52M	○	25回	2次系ポンプ分解検査	
			3.分解点検(電動機)		52M	○	25回		
	B.海水ポンプ・電動機	4.簡易点検(グラウンドバッドパッキン取替(ポンプ))			13M	○	25回		
		1.機能・性能試験	高	B	○	25回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断「電動機」:2M) 保全の有効性評価結果No.5の反映(ポンプ)	
		2.分解点検(ポンプ)		52M	○	25回	2次系ポンプ分解検査		
		3.分解点検(電動機)		52M	○	25回			
	C.海水ポンプ・電動機	4.簡易点検(グラウンドバッドパッキン取替(ポンプ))			13M	○	25回		
		1.機能・性能試験	高	B	○	25回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断「電動機」:2M) 保全の有効性評価結果No.5の反映(ポンプ)	
		2.分解点検(ポンプ)		52M	○	25回	2次系ポンプ分解検査		
		3.分解点検(電動機)		52M	○	25回			
	D.海水ポンプ・電動機	4.簡易点検(グラウンドバッドパッキン取替(ポンプ))			13M	○	25回		
		1.機能・性能試験	高	B	○	25回	2次系ポンプ機能検査	(振動診断「電動機」:2M) 保全の有効性評価結果No.5の反映(ポンプ)	
		2.分解点検(ポンプ)		52M	○	25回	2次系ポンプ分解検査		
		3.分解点検(電動機)		52M	○	25回			
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他の弁 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他の弁駆動部 原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却海水設備] その他機器 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置伝送器 格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置設定器	1式	1.機能・性能試験	高	B	○	25回	1次系弁検査		
		2.分解点検	高・低	13M~195M	○	25回	1次系弁検査		
		1.機能・性能試験	高	B	○	25回	1次系弁検査		
		2.分解点検		65M~78M	○	25回			
	1式	3.簡易点検(特性点検)			65M	○	25回		
		1.分解点検他	高	13M~130M	○	25回			
		1.特性試験	低	13M	○	25回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
		1.特性試験	低	13M	○	25回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査		
	2台	5台	2.機能・性能試験		1F	○	25回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内凝縮液量測定装置漏えい検出器機能検査	
			1.外観点検	高	1F	○	25回	制御棒クラスタ検査	※炉心設計による
			1.外観点検	高	1F	○	25回	制御棒クラスタ検査	※炉心設計による
			1.外観点検	高	1F	○	25回	制御棒クラスタ検査	※炉心設計による
	※1式	※1式	1.外観点検	高	1F	○	25回	制御棒クラスタ検査	※炉心設計による
			2.パラッキングデバイス	高	1F	○	25回	制御棒クラスタ検査	※炉心設計による
			※1式	高	1F	○	25回	制御棒クラスタ検査	※炉心設計による
			4.2次中性子源	高	1F	○	25回	制御棒クラスタ検査	※炉心設計による

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
計測制御系統施設 【制御体駆動装置】	制御体クラスタ	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	制御体駆動系機能検査 制御体クラスタ動作検査	( )内は適用する設備診断技術)	
		A 制御体駆動装置MIGセット・電動機	1.機能・性能試験	高	B	○	25回		(振動診断：3M)
			2.分解点検(発電機)		52M	—	25回		
			3.分解点検(電動機)		52M	○	23回		
	4.簡易点検(潤滑油入替)			13M	○	25回			
	B 制御体駆動装置MIGセット・電動機	1.機能・性能試験	高	B	○	25回		(振動診断：3M)	
		2.分解点検(発電機)		52M	—	25回			
		3.分解点検(電動機)		52M	○	25回			
		4.簡易点検(潤滑油入替)		13M	○	25回			
	計測制御系統施設 【ほう酸注入機能を有する設備】	A ほう酸ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	25回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：4M)
			2.分解点検(ポンプ)		39M	—	25回	ほう酸ポンプ分解検査	
			3.分解点検(電動機)		52M	—	25回		
4.簡易点検(潤滑油入替)				13M	○	25回			
B ほう酸ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B	—	25回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：4M)	
		2.分解点検(ポンプ)		39M	—	25回	ほう酸ポンプ分解検査		
		3.分解点検(電動機)		52M	—	25回			
		4.簡易点検(潤滑油入替)		13M	○	25回			
C ほう酸ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	高	B	—	25回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断：4M)	
		2.分解点検(ポンプ)		39M	—	25回	ほう酸ポンプ分解検査		
		3.分解点検(電動機)		52M	—	25回			
		4.簡易点検(潤滑油入替)		13M	○	25回			
計測制御系統施設 【ほう酸注入機能を有する設備】	A-1 次系純水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M)	
		2.分解点検(ポンプ)		130M	—	25回			
		3.分解点検(電動機)		39M	—	25回			
		4.簡易点検(潤滑油入替)		13M	○	25回			
	B-1 次系純水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断：6M)	
		2.分解点検(ポンプ)		130M	—	23回			
		3.分解点検(電動機)		39M	—	25回			
		4.簡易点検(潤滑油入替)		13M	○	25回			
	A ほう酸タンク	1.開放点検	高	130M	—	—	22回		
		1.開放点検	高	130M	—	—	22回		
		1.開放点検	高	130M	—	—	24回		
		1.開放点検	高	130M	—	—	25回		
計測制御系統施設 【ほう酸注入機能を有する設備】 その他の弁	1.分解点検	高・低	39M~260M	—	—	25回	1次系真空破壊弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査		
	2.簡易点検(グラウンドパッキン取替)	高	195M	—	—	25回			
	1.分解点検他	高	65M~195M	—	—	25回			
	1.分解点検他	低	39M~195M	○	—	25回		一部BMあり	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 【工学的安全施設等の作動信号】	A TWS緩和設備	1式	高	1F	○	—	重大事故時安全停止回路機能検査	25回施設検査時に設置
	計器用空気圧縮機	2台	高	1F	○	25回	制御用空気圧縮系機能検査	
計測制御系統施設 【制御用空気設備】	A 計器用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検他 (圧縮機) (電動機含む) 2. 分解点検 (電動機)	高	13M CBM	○ —	25回 25回		(振動診断「電動機」・2M) 保全の有効性評価結果No.6の反映 (電動機)
	B 計器用空気圧縮機・電動機	1. 分解点検他 (圧縮機) 2. 分解点検 (電動機)	高	13M CBM	○ —	25回 25回		(振動診断「電動機」・2M) 保全の有効性評価結果No.6の反映 (電動機)
計測制御系統施設 【その他設備】	計測制御系統施設 【制御用空気設備】 その他の弁	1式	高・低	B 52M~260M	—	25回	1次系安全弁検査	
	計測制御系統施設 【制御用空気設備】 その他機器	1式	高	195M	—	25回	1次系逆止弁検査	
	代器制御用空気供給設備	1. 分解点検他 (グラントドパッキン取替)	高	13M~195M	○	25回		
	1. 原子炉保護系ロジック回路	1. 分解点検他	低	104M~260M	○	25回		
	2. 安全防護系ロジック回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—		
	1. 原子炉リアクタ、工学的安全施設の制御、原子炉格納容器隔離等を行うためのすべての伝送器、設定器及び保護継電器	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	安全保護系機能検査	25回施設検査時に設置
	(1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器 (保護継電器含む) (2) 核計測装置 設定器	1. 特性試験	高	13M	○	25回	安全保護系設定値確認検査	一部定期事業者検査起動後
	2. 現場における重要な指示計器	1. 特性試験	高	13M	○	25回	安全保護系設定値確認検査	一部定期事業者検査起動後
	(1) 1次冷却材等計測装置 現場指示計 ・ 1次冷却材等計測装置 現場指示計 ・ 核計測装置 現場指示計	1. 特性試験	高	13M	○	25回	フロント状態監視設備機能検査	
	1. 事故時監視計器 圧力監視計器 水位監視計器 流量監視計器 温度監視計器	1. 特性試験	高	13M	○	25回	フロント状態監視設備機能検査	
2. 事故時燃料採取設備	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	フロント状態監視設備機能検査	一部定期事業者検査起動後	
1. 制御棒制御系 2. 加圧器水位制御系 3. 加圧器圧力制御系 4. 蒸気発生器水位制御系	1. 特性試験 2. 分解点検	高・低	13M 1F	○ ○	25回 24回			
1. 1次系計測制御装置 2. 2次系計測制御装置	1. 特性試験	高・低	13M	○	25回	計測制御系監視機能検査	一部定期事業者検査起動後	
炉外核計測装置 中性子領域計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置	1. 特性試験	高	13M	○	25回	核計測装置	一部定期事業者検査起動後	
炉内計測装置	1. 特性試験	高	13M	○	25回	核計測装置	一部定期事業者検査起動後	
制御棒位置指示装置	1. 特性試験	高	1F	○	25回	核計測装置		
炉内計測用シンプルチェーン	1. 特性試験	高	13M	○	25回	制御棒位置指示装置設定値検査		
炉内計測用シンプルチェーン	1. 非破壊試験	高	39M	—	25回	炉内計測用シンプルチェーン体積検査		
パネミツングロジック回路	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	安全保護系機能検査 (パネミツングロジック検査)		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)
計測制御系統施設 【その他設備】	総合インターロック 1.原子炉トリップによるタービン、発電機トリップ検査 2.タービントリップによる原子炉、タービントリップ検査 3.発電機トリップによる原子炉、タービントリップ検査	1式	高	1F	○	25回	総合インターロック検査	
	中央制御室外原子炉停止装置補機操作回路	1回路	高	1F	○	25回	原子炉の停止制御回路健全性確認検査	
	計測制御系統施設 【その他設備】 その他の弁	1式	高	B 39M~195M 130M~195M	○	25回	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (グラウンドバスキング取替)	
	計測制御系統施設 【その他設備】 その他の弁駆動部	1式	高	B 65M 65M	○	25回	1.機能・性能試験 2.分解点検 3.簡易点検 (特性点検)	
	計測制御系統施設 【その他設備】 その他機器	1式	高	13M~195M 13M~52M	○	25回	1.特性試験他 1.特性試験他	一部先行実施 一部BMあり
	恒設代替低圧注水積算流量	1個	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設検査時に設置
	原子炉水位	1個	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設検査時に設置
	可搬型格納容器内水素濃度	2個	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設検査時に設置
	1次系冷却水タンク加圧ライン圧力	2個	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設検査時に設置
	格納容器スプレイ積算流量	1個	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設検査時に設置
放射線廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】	原子炉格納容器水位	1対	高	1F	○	—	1.機能・性能試験	25回施設検査時に設置
	原子炉下部キャビティ水位	1対	高	1F	○	—	1.機能・性能試験	25回施設検査時に設置
	可搬型格納容器ガス試料圧縮装置	2台	高	13M	○	—	1.特性試験 1.機能・性能試験	25回施設検査時に設置
	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA))	4個	高	13M	○	—	1.特性試験	25回施設検査時に設置
	廃棄物車 (1, 2, 3号機共用)	4棟	低	1W	○	25回	1.機能・性能試験	プラント運転中又は定検停止中
	蒸気発生器保管庫 (1, 2, 3号機共用)	2棟	低	1W	○	25回	1.機能・性能試験	プラント運転中又は定検停止中
	放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】 その他機器	1式	低	130M	○	17回	1.分解点検他	一部BMあり 一部先行実施
	ガス圧縮機・電動機	2台	低	1F 195M 3M	○	25回 25回 25回	1.機能・性能試験 2.開放点検 (圧縮機) 3.分解点検 (電動機) 4.簡易点検 (潤滑油取替) (圧縮機)	先行実施 (振動診断: 6M) 保全の有効性評価結果No. 7の反映 (電動機)
	ガス減衰タンク入口圧力制御弁	4台	低	1F	○	25回	1.機能・性能試験 (駆動部含む) 2.分解点検	気体廃棄物処理系機能検査
	ガス減衰タンク入口圧力制御弁駆動部 水素再結合装置	4台 1台	低	130M 65M	○	25回 25回	1.機能・性能試験 2.分解点検	気体廃棄物処理系機能検査
ほう酸回収装置 廃液蒸発装置	ほう酸回収装置	1基	低	13M~195M	○	25回	1.機能・性能試験 2.分解点検他	気体廃棄物処理系機能検査
	廃液蒸発装置	1基	低	1F 13M~195M	○	25回	1.機能・性能試験 2.分解点検他	液体廃棄物処理系機能検査
	A.ガス減衰タンクアラブチャディスプレイ		高	195M	—	25回	1.分解点検	1次系破損板検査
	B.ガス減衰タンクアラブチャディスプレイ		高	195M	—	21回	1.分解点検	1次系破損板検査
	C.ガス減衰タンクアラブチャディスプレイ		高	195M	—	21回	1.分解点検	1次系破損板検査
	D.ガス減衰タンクアラブチャディスプレイ		高	195M	—	21回	1.分解点検	1次系破損板検査

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物貯蔵設備】	A格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	(メガ測定：1F)
		2.分解点検 (ポンプ)		26M	—	25回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	18回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
B格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B	○	25回	液体廃棄物処理系設備検査	(メガ測定：1F)
		2.分解点検 (ポンプ)		26M	○	25回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	15回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
A補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No.8の反映 (ポンプ)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	23回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	12回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
B補助建屋冷却材ドレンポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No.8の反映 (ポンプ)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	24回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	15回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
Aサンプタンクポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B	—	14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	14回		
		3.分解点検 (電動機)		130M	—	25回		
Bサンプタンクポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B	—	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	14回		
		3.分解点検 (電動機)		130M	—	25回		
Aモニタタンクポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：12M) (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No.8の反映 (ポンプ)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	11回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
Bモニタタンクポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：12M) (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No.8の反映 (ポンプ)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	9回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
ホールドアップタンク循環ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：12M) (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No.8の反映 (ポンプ)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3.分解点検 (電動機)		78M	—	25回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
Aホールドアップタンクポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No.8の反映 (ポンプ)
		2.分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3.分解点検 (電動機)		CBM	—	9回		
		4.簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	B ホールドアップタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	10回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	—	25回		
	A 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	
		2. 分解点検		130M	—	24回		
		3. 簡易点検 (メガ測定)		1F	○	25回		
		4. 簡易点検 (サクシジョンストレーナ清掃)		13M	○	25回		
	B 格納容器サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	
		2. 分解点検		130M	—	24回		
		3. 簡易点検 (メガ測定)		1F	○	25回		
		4. 簡易点検 (サクシジョンストレーナ清掃)		13M	○	25回		
	A 薬品ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	9回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回		
B 薬品ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	13回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回			
A 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	14回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回			
B 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	12回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回			
C 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (メガ測定：1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	13回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回			
A 循環ポンプ・電動機 (洗浄排水ろ過装置)	1. 機能・性能試験	低	B	○	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		130M	○	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	B 循環ポンプ・電動機 (洗浄排水ろ過装置)	1. 機能・性能試験	低	B	○	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	○	21回		
		3. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回		
	A 洗浄排水モニタタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	23回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (駆動診断「ポンプ」: 12H) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	23回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	15回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回		
	B 洗浄排水モニタタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (駆動診断「ポンプ」: 12H) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)
		2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	9回		
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回		
A 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	24回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (駆動診断「ポンプ」: 12H) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	24回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	14回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回			
B 廃液蒸留水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	21回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (駆動診断「ポンプ」: 12H) (メカ測定: 1F) 保全の有効性評価結果No. 8の反映 (ポンプ)	
	2. 分解点検 (ポンプ)		CBM	—	21回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	15回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		26M	○	25回			
A 補助建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	○	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	○	11回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
B 補助建屋サンプポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	—	14回			
	3. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
酸液ドレンポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	14回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検		260M	—	14回			
	3. 簡易点検 (メカ測定)		1F	○	25回			
固化建屋床ドレンタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回			
	3. 簡易点検 (メカ測定)		1F	—	25回			
固化建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回			
	3. 簡易点検 (メカ測定)		1F	—	25回			



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)				
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】	固化建屋ドレンピットポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施				
		2.分解点検 (ポンプ)		260M	—	25回						
		3.簡易点検 (メガ測定)		1F	—	25回						
		1.機能・性能試験		低	B	—			25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施	
		2.分解点検 (ポンプ)			260M	—			25回			
		3.簡易点検 (メガ測定)			1F	—			25回			
		A 固化建屋洗浄排水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B			—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
				2.分解点検 (ポンプ)		260M			—	25回		
				3.簡易点検 (メガ測定)		1F			—	25回		
		B 固化建屋洗浄排水ポンプ・電動機		1.機能・性能試験	低	B			—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
	2.分解点検 (ポンプ)		260M	—		25回						
	3.簡易点検 (メガ測定)		1F	—		25回						
	第2 固体廃棄物処理建屋A サンプポンプ・電動機	1式	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施			
			2.分解点検 (ポンプ)		195M	—	25回					
			3.分解点検 (電動機)		78M	—	25回					
			4.簡易点検 (グラウンドバックスキン取替) (ポンプ)		104M	—	25回					
	第2 固体廃棄物処理建屋B サンプポンプ・電動機	1式	1.機能・性能試験	低	B	—	25回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施			
			2.分解点検 (ポンプ)		195M	—	25回					
			3.分解点検 (電動機)		78M	—	25回					
			4.簡易点検 (グラウンドバックスキン取替) (ポンプ)		104M	—	25回					
液体中の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置	1式	1.特性試験	低	13M	○	25回	液体中の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査	先行実施				
		2.機能・性能試験		1F	○	25回						
種固体焼却設備	1式	1.機能・性能試験	低	1F	—	25回	固体廃棄物処理系焼却炉機能検査	先行実施				
		2.分解点検他		13M~260M	—	25回						
アスファルト固化設備	1式	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	液体廃棄物処理系アスファルト固化設備機能検査	先行実施				
		2.分解点検他		13M~260M	—	25回						
廃樹脂処理装置	1式	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	廃樹脂処理装置運転性能検査	先行実施				
		2.分解点検他		13M~260M	○	25回						
種固体溶解炉	1式	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	固体廃棄物処理系溶解炉運転性能検査	先行実施				
		2.分解点検他		13M~260M	○	25回						
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】 その他の弁	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	—	25回	1 次系安全弁検査 1 次系弁検査	一部先行実施				
		2.分解点検		39M~260M	○	25回						
		3.簡易点検 (グラウンドバックスキン取替)		104M	—	25回						
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体、液体又は固体廃棄物処理設備】 その他の弁駆動部	1式	1.機能・性能試験	高・低	B	—	24回	1 次系弁検査					
		2.分解点検		65M	○	25回						
		3.簡易点検 (特許点検)		65M	—	25回						

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 【気体・液体又は固体廃棄物処理設備】	1式	1. 分解点検他	高	13M~195M	○	25回		一部先行実施
	1式	1. 分解点検他	低	13M~260M	○	25回		一部AMあり 一部先行実施
放射性廃棄物の廃棄施設 【原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備 貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置】	1式	1. 特性試験	低	13M	○	25回	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 (最終流入サンプ)	
		2. 機能・性能試験		1F	○	25回	液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 (最終流入サンプ)	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	1式	1. 特性試験	低	13M	○	25回		
		2. 機能・性能試験		1F	○	25回		
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	4個	1. 特性試験	高	13M	○	25回	エリアモニタ機能検査	
	3R-11	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回		
		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	3R-12	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回		
		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	3R-14	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	3R-15	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	3R-17A	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回		
		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-17B	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回		
		2. 特性試験		13M	○	25回		
	3R-18	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	3R-19	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後
	3R-20	1. 特性試験	低	13M	○	25回		
	3R-24	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	放射線監視装置機能検査	
		2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
3R-26	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回			
	2. 特性試験		13M	○	25回			
3R-30	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回			
	2. 特性試験		13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
3R-31	1. 特性試験	低	13M	○	25回			
3R-32	1. 特性試験	低	13M	○	25回			
3R-41	1. 特性試験	低	13M	○	25回			
A高感度型主蒸気管モニタ	3R-65	1. 特性試験	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術	
放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】	B高感度型主蒸気管モニタ	3R-66	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	C高感度型主蒸気管モニタ	3R-67	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	一部定期事業者検査起動後	
	格納容器排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)	3R-80A	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	格納容器排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)	3R-80B	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ (低レンジ)	3R-81A	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	補助建屋排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)	3R-81B	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	A主蒸気管モニタ	3R-87	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	B主蒸気管モニタ	3R-88	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	C主蒸気管モニタ	3R-89	高	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査		
	固化建屋排気ガスモニタ	RA-11	1. 特性試験 1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	先行実施
	固化装置オフガスモニタ	RA-12	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	雑固体焼却炉排ガスモニタ	RA-13	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	
	雑固体焼却炉排ガスモニタ	RA-14	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	
	第2 固体廃棄物処理建屋排ガスモニタ	RA-31	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	先行実施
	第2 固体廃棄物処理建屋排ガスモニタ	RA-32	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	先行実施
	第2 固体廃棄物処理建屋排ガスモニタ	RA-33	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	先行実施
	中央制御室エリアモニタ	3R-1	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F 13M	○ ○	25回 25回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器入口エリアモニタ	3R-2	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	放射化学室エリアモニタ	3R-3	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	充てんポンプ弁操作室エリアモニタ	3R-4	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エリアモニタ	3R-5	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	サンプル室エリアモニタ	3R-6	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	炉内計装区域エリアモニタ	3R-7	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	ドラム詰室エリアモニタ	3R-8	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	ガス圧縮装置エリアモニタ	3R-51	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料輸送容器保管区域エリアモニタ	RC-1	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	固化建屋制御室エリアモニタ	RA-1	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	充填操作室エリアモニタ	RA-2	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	焼却処理室エリアモニタ	RA-3	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	
	第2 固体廃棄物処理建屋分別室エリアモニタ	RA-5	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	先行実施

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	第2固体廃棄物処理建屋溶融炉室エリアモニタ	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	先行実施	
	第2固体廃棄物処理建屋制御室エリアモニタ	1. 特性試験	低	13M	○	25回	放射線監視装置機能検査	先行実施	
	モニタステーション	1. 特性試験	低	13M	○	25回	野外モニタ機能検査		
	モニタポスト	1. 特性試験	低	13M	○	25回	野外モニタ機能検査		
	移動式モニタリング設備	1. 特性試験	低	13M	○	25回	野外モニタ機能検査		
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] その他機器	1. 分解点検他	高	13M	○	25回			
		1. 分解点検他	低	13M	○	25回		一部先行実施	
	緊急時対策所外可搬型エリアモニタ	1. 特性試験	高	1Y	○	—		25回施設検査時に設置	
	緊急時対策所内可搬型エリアモニタ	1. 特性試験	高	1Y	○	—		25回施設検査時に設置	
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ	1. 特性試験	高	1F	○	—		25回施設検査時に設置	
	可搬式モニタリングポスト	1. 特性試験	高	1F	○	—		25回施設検査時に設置	
	放射線管理施設 [換気設備]	アニュラス循環排気系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	アニュラス循環排気系機能検査	
		A, B アニュラス循環フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (上ラ素フィルタ) 2. 開放点検 (フィルタ取替)	高	1F	○	25回	アニュラス循環排気系フィルター性能検査	A系、B系の代表機器を実施
		Aアニュラス循環フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	※機能・性能試験結果により適宜実施
		Bアニュラス循環フィルタユニット	1. 機能・性能試験 (差圧確認) 2. 開放点検	高	52M	○	25回	1次系換気空調設備検査	
中央制御室非常用循環系		1. 機能・性能試験	高	52M	—	25回			
中央制御室非常用循環系		1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	中央制御室非常用循環系機能検査		
中央制御室非常用循環系フィルタユニット		1. 機能・性能試験 (上ラ素フィルタ) 2. 開放点検 (フィルタ取替) 3. 機能・性能試験 (差圧確認) 4. 開放点検	高	1F	○	25回	中央制御室非常用循環系フィルター性能検査	※機能・性能試験結果により実施	
補助建屋よう素除去排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
		1. 機能・性能試験 (上ラ素フィルタ) 2. 開放点検 (フィルタ取替) 3. 機能・性能試験 (差圧確認) 4. 開放点検	高	52M	—	25回			
格納容器排気フィルタユニット		1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
A格納容器浄化フィルタユニット		1. 機能・性能試験	低	52M	—	25回			
B格納容器浄化フィルタユニット		1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
格納容器送気冷暖房ユニット		1. 機能・性能試験	低	52M	—	25回			
A格納容器循環冷暖房ユニット		1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	B 格納容器循環冷却房ユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	
	C 格納容器循環冷却房ユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	
	A 補助建屋送気冷却房ユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B 補助建屋送気冷却房ユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	A 前御建屋冷却房ユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	
	B 前御建屋冷却房ユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	
	A 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	出入管理室フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	
	ホット保養室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	ベーンラ排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	A 固化建屋暖房ユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B 固化建屋暖房ユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	A 固化建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	B 固化建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
	第2 固体廃棄物処理建屋給気フィルタユニット	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	低	1F 52M	○ -	25回 25回	1次系換気空調設備検査	先行実施

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	第2固体廃棄物処理建屋排気フィルタユニット	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2.開放点検		52M	—	25回			
		1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	A格納容器循環ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			39M	○	25回		
		3.分解点検(電動機)			39M	○	25回		
		1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	B格納容器循環ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			39M	—	25回		
		3.分解点検(電動機)			39M	—	25回		
		1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	C格納容器循環ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			39M	—	25回		
		3.分解点検(電動機)			39M	—	25回		
		1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	A格納容器浄化ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			104M	—	25回		
		3.分解点検(電動機)			104M	—	25回		
		1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	B格納容器浄化ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			104M	—	25回		
		3.分解点検(電動機)			104M	—	25回		
		1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	A格納容器送気ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			130M	—	22回		先行実施 (振動診断：4M) (メカ測定：1F)
		3.分解点検(電動機)			CBM	—	25回		
		1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
	B格納容器送気ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			130M	—	25回		先行実施 (振動診断：4M) (メカ測定：1F)
		3.分解点検(電動機)			CBM	—	25回		
		1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査		
A格納容器排気ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			130M	○	25回		先行実施	
	3.分解点検(電動機)			78M	—	25回			
	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査			
B格納容器排気ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			130M	—	25回			
	3.分解点検(電動機)			78M	—	25回			
	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査			
Aアニュウラス循環ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			156M	—	25回			
	3.分解点検(電動機)			156M	—	25回			
	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査			
Bアニュウラス循環ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			104M	—	25回			
	3.分解点検(電動機)			156M	—	25回			
	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査			
A補助建屋送気ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			78M	—	25回		先行実施 (振動診断：3M) (メカ測定：1F)	
	3.分解点検(電動機)			CBM	—	25回			
	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査			
B補助建屋送気ファン・電動機	2.分解点検(ファン)			78M	○	25回		先行実施 (振動診断：3M) (メカ測定：1F)	
	3.分解点検(電動機)			CBM	—	25回			
	1.機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：3M) (メカ測定：1F)
		2. 分解点検 (ファン)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
	B 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：3M) (メカ測定：1F)
		2. 分解点検 (ファン)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
	C 補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：3M) (メカ測定：1F)
		2. 分解点検 (ファン)		104M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
	A 制御建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回		
	B 制御建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	25回		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回		
	A 制御建屋循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		156M	—	22回		
		3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回		
B 制御建屋循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		156M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
A 補助建屋よう素除去排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
B 補助建屋よう素除去排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
A 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		156M	—	20回			
B 中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査		
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	23回			
	3. 分解点検 (電動機)		156M	—	21回			
A 出入管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	○	21回			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
B 出入管理室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	先行実施	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	—	25回			
	3. 分解点検 (電動機)		52M	—	25回			
ホット床修室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (メカ測定：1F)	
	2. 分解点検 (ファン)		130M	○	21回			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	9回			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	ベーパー排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		130M	○	21回		
		3. 分解点検 (電動機)		156M	—	25回		
	A 同化建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	※—		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
	B 同化建屋送気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M) (メカ測定: 1F)
		2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	※—		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
	A 同化建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	—	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M) (メカ測定: 1F)
		2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	※—		
		3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回		
B 同化建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	—	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M) (メカ測定: 1F)	
	2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	※—			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回			
第2 固体廃棄物処理建屋A 給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	—	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断: 4M) (メカ測定: 1F)	
	2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	※—			
	3. 分解点検 (電動機)		CBM	—	25回			



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
放射線管理施設 [換気設備]	第2 固体廃棄物処理建屋B 給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	25回			
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
	第2 固体廃棄物処理建屋A 排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	25回			
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
	第2 固体廃棄物処理建屋B 排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	25回	1次系換気空調設備検査	先行実施	
		2. 分解点検 (ファン)		78M	—	25回			
		3. 分解点検 (電動機)		78M	—	25回			
	放射線管理施設 [換気設備]	換気空調設備のファン	1. 簡易点検 (潤滑油脂補給他)	高・低	13M~91M	○	25回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施
			1. 機能・性能試験	高・低	13M~130M	○	25回		
			2. 分解点検他		13M~130M	○	25回		
		可燃性ガス濃度制御系主要弁	1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回実施定期検査より追加
			1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
			1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
3D-6720A		1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回実施定期検査より追加	
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
3D-6720B		1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回実施定期検査より追加	
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
3D-6721A		1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回実施定期検査より追加	
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
3D-6721B	1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回実施定期検査より追加		
	1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査			
	1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査			
3D-6723A	1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回実施定期検査より追加		
	1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査			
	1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査			
3D-6723B	1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査25回実施定期検査より追加		
	1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査			
	1. 分解点検	高	130M	—	25回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査			
放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1式	1. 分解点検	高・低	104M~260M	○	25回	1次系弁検査	一部先行実施	
		2. 簡易点検 (グラウンドバッキング取替)		195M	○	25回			
		1. 分解点検他		13M~260M	○	25回			
放射線管理施設 [換気設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	25回		一部先行実施	
		1. 機能・性能試験	低	13M~260M	○	25回			
		1. 分解点検	低	13M~260M	○	25回			
放射線管理施設 [生体遮蔽装置]	緊急時対策所非常用空気浄化ファン	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	可搬型換気空調設備検査	先行実施 25回実施検査時に設置	
		1. 機能・性能試験 (よう素フィルタ性能検査)	高	1Y	○	—	可搬型換気空調設備検査		
		1. 漏えい試験	高	6Y	—	25回	中央制御室の居住性確認検査		
放射線管理施設 [その他設備]	緊急時対策所	1. 機能・性能試験	高	1F	○	—	緊急時対策所の居住性確認検査	先行実施 25回実施検査時に設置	
		1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査		
		1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査		



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器隔離弁	3A0V-8025	高	104M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-8026	高	104M	○	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9157	高	130M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9159A	高	104M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9159B	高	104M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		31CV-1003	高	130M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-8028	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-8033	高	130M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9160A	高	130M	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9160B	高	130M	-	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9170	高	130M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9352A	高	130M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-9352B	高	130M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5000	高	52M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5001	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5002	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5003	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5004A	高	52M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3M0V-5004B	高	78M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5005	高	52M	○	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5018A	高	52M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5018B	高	52M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5018C	高	52M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-5019	高	52M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709A	高	130M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709B	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709C	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709D	高	130M	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6709E	高	130M	-	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710A	高	130M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710B	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710C	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710D	高	130M	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6710E	高	130M	-	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6752	高	130M	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6753	高	130M	-	23回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3M0V-6756A	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6756B	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6757A	高	130M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3A0V-6757B	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3A0V-6758A	高	130M	-	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
3A0V-6758B	高	130M	-	22回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(新技術)	
原子炉格納施設 【原子炉格納容器】	原子炉格納容器隔離弁	3A0V-5502A	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3A0V-5502B	高	104M	—	24回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3A0V-5502C	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3A0V-5505A	高	52M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3A0V-5505B	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3A0V-5505C	高	104M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3M0V-6931	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3M0V-6200	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3M0V-6201	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
		3M0V-6202	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	3M0V-6203	高	130M	○	21回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	3A0V-6746	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	3A0V-6747	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
	1式	2.簡易点検 (フランク入替)	高	39M~130M	○	25回			
	1式	1.分解点検	高	52M~156M	○	25回			
	5個	2.簡易点検 (特性点検)	高	13M~52M	○	25回			
	原子炉格納容器隔離弁駆動部	1.機能・性能試験	高	1F	○	25回	原子炉格納容器具空速がし弁機能検査		
	原子炉格納施設 【原子炉格納容器】 その他の弁	3D-6707A	2.分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6707B	2.分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
		3D-6707C	2.分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
3D-6707D		2.分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
3D-6707E		2.分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
1式		1.機能・性能試験	低	B	—	25回	1次系安全弁検査		
1式		2.分解点検	高・低	39M~234M	—	25回			
1式		1.分解点検他	低	195M	○	22回		一部BMあり	
原子炉格納施設 【圧力低減設備その他の安全設備】		原子炉格納容器スプレイ系	1.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	25回	原子炉格納容器安全系機能検査	[対象設備] A・B内部スプレイ系 炉心注入系 25回施設定期検査より追加
			2.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む)	高	1F	○	25回	その他原子炉注水系機能検査	
	A内部スプレイポンプ・電動機	1.分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 弁は25回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No.3の反映 (ポンプ・電動機)	
		2.分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
	B内部スプレイポンプ・電動機	3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	25回			
		1.分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	その他原子炉注水系ポンプ分解検査 弁は25回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No.3の反映 (ポンプ・電動機)	
	C内部スプレイポンプ・電動機	2.分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
		3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	25回			
		1.分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	保全の有効性評価結果No.3の反映 (ポンプ・電動機)	
		2.分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
	3.簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	—	25回				

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	D)内部スプレポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	保全の有効性評価結果No. 3の反映 (ポンプ・電動機)	
		2. 分解点検 (電動機)		130M	—	25回			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替) (電動機)		26M	○	25回			
	A)内部スプレクレーラ	1. 開放点検	高	195M	—	25回			
		2. 非破壊試験	高	195M	—	25回	1次系熱交換器検査		
		1. 開放点検	高	195M	—	25回			
	B)内部スプレクレーラ	1. 開放点検	高	195M	—	25回			
		2. 非破壊試験	高	195M	—	25回	1次系熱交換器検査		
		1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査		
	原子炉格納容器スプレレイ系主要弁	3MOV-6405A	1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3MOV-6405B	1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3MOV-6417A	1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
		3MOV-6417B	1. 分解点検	高	130M	—	25回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
原子炉格納容器スプレレイ系主要弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	156M	—	24回			
	1式	1. 開放点検	高	195M	—	25回			
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	25回	1次系安全弁検査 1次系弁検査		
		2. 分解点検	高・低	39M~234M	○	25回	1次系真空破露弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査		
		3. 簡易点検 (グラントバッキン取替)	高	130M~195M	○	25回			
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	—	22回	1次系弁検査		
		2. 分解点検		156M	—	22回			
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	78M~195M	○	25回			
		1. 機能・性能試験	高	5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査	25回施設設定検時に設置	
静的触媒式水素再結合装置	5個	2. 外観点検 (触媒プレート)		5F	—	—	原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査		
		3. 外観点検 (本体)		1F	○	—			
		1. 外観点検	高	1F	○	—		25回施設設定検時に設置	
原子炉格納容器水素燃焼装置	13個	2. 絶縁抵抗測定		1F	○	—			
		3. 抵抗測定		1F	○	—			
		4. 機能・性能試験 (シーケンス試験)		1F	○	—	原子炉格納容器水素再結合装置 機能検査		
		1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設設定検時に設置	
原子炉格納容器水素燃焼装置 温度監視装置	1式	1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設設定検時に設置	
		1. 特性試験	高	13M	○	—	計測制御系監視機能検査	25回施設設定検時に設置	

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	7Y 1F	○ ○	25回 25回	クラス1 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別表-1]
	クラス2機器(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y 10Y	— ○	25回 25回	クラス2 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別表-2]
	クラス3機器(供用期間中検査対象)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y 10Y	○ ○	25回 25回	クラス3 機器供用期間中検査	ISIプログラムによる。 [別表-3]
	クラス1機器NI基金使用部位 (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	3.5Y	○	24回	供用期間中特別検査のうちクラス1 機器NI基金使用部位特別検査	ISIプログラムによる。 [別表-4]
	クラス2管(原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	25%/10Y	○	25回	供用期間中特別検査のクラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査	ISIプログラムによる。 [別表-5]
	蒸気発生器管台溶接部(重大事故等クラス 2機器供用期間中検査対象含む)	1. 非破壊試験	高	7Y	—	—	供用期間中特別検査のうち蒸気発生 器管台溶接部の健全性確認検査	ISIプログラムによる。 [別表-1]
	クラス3機器、クラス4管の耐圧部	1. 外観点検	高・低	100%/10Y	○	25回	構造健全性検査	排気筒については65Mで実施
	RCPBのベント・ドレン弁の閉止栓	1. 漏えい検査	高	1F	○	25回	構造健全性検査	
	レストレイント	1. 外観点検	高	100%/10Y	—	25回	レストレイント検査	
	原子力設備 [その他設備] その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グラウンドパバッキン取替)	低 高・低 高	B 130M~195M 195M	— — —	25回 25回 22回	1 次系安全弁検査 1 次系逆止弁検査	
	原子力設備 [その他設備] その他機器	1. 分解点検他	低	1Y~130M	○	25回		一部BMあり
	重大事故等クラス2機器	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10Y 10Y	○ —	— —	重大事故等クラス2 機器供用期間中 検査	ISIプログラムによる。 [別表-7] 25回施設検査時に設定
	重大事故等クラス3機器	1. 非破壊試験	高	10Y	○	—	重大事故等クラス3 機器供用期間中 検査	ISIプログラムによる。 [別表-8] 25回施設検査時に設定
	クラス1配管(水平展開対象)	1. 非破壊試験	高	100%/1F	○	—	供用期間中特別検査のうちクラス1 配管特別検査	ISIプログラムによる。 [別表-9] 25回施設定期検査時に設定
	原子力設備・タービン設備 [その他設備]	1. 外観点検	高	100%/10Y	○	25回	耐震健全性検査	クラス1, 2, 3 機器供用期間中 検査の対象範囲を除く

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン 【車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸】	高圧タービン	1. 開放点検 2. 組立状況点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	26M B 13M	○ ○ ○	24回 24回 25回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査		
	第1 低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	26M 1F 13M	— ○ ○	25回 25回 25回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施	
	第2 低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	26M 1F 13M	○ ○ ○	24回 25回 25回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施	
	第3 低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部清掃他)	高	26M 1F 13M	— ○ ○	25回 25回 25回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	開放点検実施時は開放点検内で実施	
	ロータアライメント	1. 組立状況点検	高	B※	○	25回	蒸気タービン開放検査	※タービンの開放時期に合わせて実施	
	蒸気タービン 【调速装置及び非常调速装置並びに调速装置で制御される主要弁】	调速装置および非常调速装置	1. 外観点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査	
		No. 1 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M B	○ ○	25回 25回	蒸気タービン開放検査	
		No. 2 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M B	○ ○	25回 25回	蒸気タービン開放検査	
		No. 3 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M B	○ ○	25回 25回	蒸気タービン開放検査	
		No. 4 主蒸気止め弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M B	○ ○	25回 25回	蒸気タービン開放検査	
		No. 1 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M B	○ ○	25回 25回	蒸気タービン開放検査	
		No. 2 蒸気加減弁	1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M B	○ ○	25回 25回	蒸気タービン開放検査	
No. 3 蒸気加減弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M B	○ ○	25回 25回	蒸気タービン開放検査		
No. 4 蒸気加減弁		1. 開放点検 2. 組立状況点検	高	13M B	○ ○	25回 25回	蒸気タービン開放検査		
1 A 再熱蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	—	25回	蒸気タービン開放検査		
1 B 再熱蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	—	25回	蒸気タービン開放検査		
2 A 再熱蒸気止め弁		1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査		
2 B 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査			
3 A 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	—	25回	蒸気タービン開放検査			
3 B 再熱蒸気止め弁	1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査			
1 A インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査			
1 B インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	—	25回	蒸気タービン開放検査			
2 A インターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査			

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 (○内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン [調速装置及び非常調速装置並びに 調速装置で制御される主要弁]  蒸気タービン [復水器]	2 Bインターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	○	24回	蒸気タービン開放検査		
	3 Aインターセプト弁	1. 開放点検	高	26M	—	25回	蒸気タービン開放検査		
	3 Bインターセプト弁	1. 開放点検	高	13M	○	25回	蒸気タービン開放検査		
	復水器	2. 防汚塗装			13M	○	25回		
		A 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ) 2. 分解点検 (電動機) 3. 簡易点検 (圧油導入装置点検) (ポンプ)	高	26M	—	25回		
	B 循環水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)		高	26M	○	25回		
		2. 分解点検 (電動機)			52M	—	25回		
	A 復水器真空ポンプ・電動機	3. 簡易点検 (圧油導入装置点検) (ポンプ)			13M	○	25回		
		1. 分解点検 (ポンプ)		高	39M	○	24回		先行実施 (駆動診断: 6M) (メガ測定: 1F)
	A 復水器真空ポンプシール水タンク	2. 分解点検 (電動機)			CBM	—	24回		
		1. 開放点検		高	234M	○	22回	2 次系容器検査	
	B 復水器真空ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)		高	39M	—	25回		先行実施 (駆動診断: 6M) (メガ測定: 1F)
		2. 分解点検 (電動機)			CBM	—	25回		
	B 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 開放点検		高	234M	—	22回	2 次系容器検査	
		1. 分解点検 (ポンプ)		高	39M	—	25回		先行実施 (駆動診断: 6M) (メガ測定: 1F)
C 復水器真空ポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)			CBM	—	25回			
	1. 開放点検		高	234M	—	25回	2 次系容器検査		
C 復水器真空ポンプシール水タンク	1. 分解点検 (ポンプ)		高	78M	—	25回		(駆動診断 [電動機]: 3M) 保全の有効性評価結果No.10の反映 (電動機)	
	1. 分解点検 (電動機)			CBM	—	25回		(駆動診断 [電動機]: 3M) 保全の有効性評価結果No.10の反映 (電動機)	
B 復水器真空ポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)		高	78M	—	22回		(駆動診断 [電動機]: 3M) 保全の有効性評価結果No.10の反映 (電動機)	
	1. 分解点検 (ポンプ)		高	CBM	—	25回		(駆動診断 [電動機]: 3M) 保全の有効性評価結果No.10の反映 (電動機)	
C 復水器真空ポンプ・電動機	2. 分解点検 (電動機)		高	78M	○	21回		(駆動診断 [電動機]: 3M) 保全の有効性評価結果No.10の反映 (電動機)	
	1. 分解点検 (ポンプ)		高	CBM	—	25回		(駆動診断 [電動機]: 3M) 保全の有効性評価結果No.10の反映 (電動機)	
蒸気タービン [「蒸気タービン」に附属する熱交換器]  1 A 湿分離加熱器	蒸気タービン [「復水器」 その他機器]	1. 分解点検他	高	13M~260M	○	25回			
	1 式	1. 分解点検他	低	13M~208M	○	25回		一部BMあり	
		1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	○	22回		蒸気タービン開放検査	
	1 A 湿分離加熱器	2. 開放点検 (胴側)		26M	○	24回			
		3. 漏えい試験		B	○	22回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	○	22回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	○	22回			
		1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	—	25回			
	1 B 湿分離加熱器	2. 開放点検 (胴側)		26M	—	25回			
		3. 漏えい試験		B	—	25回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	23回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	23回			
		蒸気タービン開放検査							



機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	2 A 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	—	22回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	○	24回			
		3. 漏えい試験		B	—	22回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	22回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	22回			
	2 B 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	—	25回			
		3. 漏えい試験		B	—	23回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	23回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	23回			
	3 A 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	—	22回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	○	24回			
		3. 漏えい試験		B	—	22回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	22回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	22回			
	3 B 湿分離加熱器	1. 開放点検 (蒸気室)	高	130M	—	23回	蒸気タービン開放検査		
		2. 開放点検 (胴側)		26M	—	25回			
		3. 漏えい試験		B	—	23回			
		4. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	23回			
		5. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	23回			
	A 配気器	B 配気器	1. 開放点検	高	39M	—	25回	2次系容器検査	
			1. 開放点検		39M	○	25回		
			1. 開放点検		39M	○	25回		
			1. 開放点検		65M	—	25回		2次系熱交換器検査
			2. 漏えい試験		B	—	25回		
第1 A 低圧給水加熱器		3. 非破壊試験	高	130M	—	25回	2次系熱交換器検査		
		1. 開放点検		65M	○	23回			
		2. 漏えい試験		B	○	23回			
		3. 非破壊試験		130M	○	23回			
		1. 開放点検		65M	—	24回		2次系熱交換器検査	
2. 漏えい試験		B	—	24回					
第1 B 低圧給水加熱器		3. 非破壊試験	高	130M	—	24回	2次系熱交換器検査		
		1. 開放点検		65M	—	25回			
		2. 漏えい試験		B	—	25回			
		3. 非破壊試験		130M	—	22回			
		1. 開放点検		65M	—	23回		2次系熱交換器検査	
2. 漏えい試験		B	—	23回					
第1 C 低圧給水加熱器		3. 非破壊試験	高	130M	—	23回	2次系熱交換器検査		
		1. 開放点検		65M	—	24回			
		2. 漏えい試験		B	—	24回			
		3. 非破壊試験		130M	—	24回			
		1. 開放点検		65M	—	25回		2次系熱交換器検査	
2. 漏えい試験		B	—	25回					
第2 A 低圧給水加熱器		3. 非破壊試験	高	130M	—	22回	2次系熱交換器検査		
		1. 開放点検		65M	—	23回			
	2. 漏えい試験	B		—	23回				
	3. 非破壊試験	130M		○	23回				
	1. 開放点検	65M		—	23回	2次系熱交換器検査			
2. 漏えい試験	B	—	23回						
第2 B 低圧給水加熱器	3. 非破壊試験	高	130M	—	23回	2次系熱交換器検査			
	1. 開放点検		65M	○	23回				
	2. 漏えい試験		B	○	23回				
	3. 非破壊試験		130M	—	23回				
	1. 開放点検		65M	—	23回				

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)						
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕	第2 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	24回	2次系熱交換器検査							
		2. 漏えい試験		B	—	24回								
		3. 非破壊試験		130M	—	24回								
	第3 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	25回	2次系熱交換器検査							
		2. 漏えい試験		B	—	25回								
		3. 非破壊試験		130M	—	22回								
	第3 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	23回	2次系熱交換器検査							
		2. 漏えい試験		B	○	23回								
		3. 非破壊試験		130M	—	23回								
	第3 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	24回	2次系熱交換器検査							
		2. 漏えい試験		B	—	24回								
		3. 非破壊試験		130M	—	24回								
	第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	25回	2次系熱交換器検査							
		2. 漏えい試験		B	—	25回								
		3. 非破壊試験		130M	—	25回								
	第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	23回	2次系熱交換器検査							
		2. 漏えい試験		B	○	23回								
		3. 非破壊試験		130M	○	23回								
	第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	24回	2次系熱交換器検査							
		2. 漏えい試験		B	—	24回								
		3. 非破壊試験		130M	—	24回								
	第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	22回	2次系熱交換器検査							
		2. 漏えい試験		B	—	22回								
		3. 非破壊試験 (加熱管)		130M	—	22回								
第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	22回	2次系熱交換器検査								
	2. 漏えい試験		B	—	22回									
	4. 非破壊試験 (シール溶接部)		130M	—	22回									
グラウンド蒸気復水器	1. 開放点検	高	65M	—	23回	2次系熱交換器検査								
	2. 漏えい試験		B	—	23回									
	3. 非破壊試験		130M	—	23回									
蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕 その他機器	1 式	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	低	65M~130M	—	24回	一部先行実施							
		1. 分解点検 (A1電動機)		1F	○	25回			蒸気タービン附属設備機能検査					
		1. 分解点検 (ポンプ)		39M	○	25回								
		2. 分解点検 (A1電動機)		52M	○	25回								
		3. 分解点検 (A2電動機)		52M	—	25回								
		4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)		13M	○	25回								
		蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕		A 主給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高				1F	○	25回		
					1. 分解点検 (ポンプ)					39M	○	25回		
					2. 分解点検 (A1電動機)					52M	○	25回		
					3. 分解点検 (A2電動機)					52M	—	25回		
					4. 簡易点検 (潤滑油入替) (ポンプ)					13M	○	25回		